

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年4月24日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200036
法人名	有限会社 稲満会
事業所名	グループホーム うらら
所在地	鹿児島県霧島市国分下井2988番地 (電話) 0995-46-1778
自己評価作成日	令和5年3月27日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年4月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・なるべく家族的な雰囲気作り
- ・入居者に合わせた介護
- ・お年寄りの嗜好を考えた献立
- ・現在も感染予防に取り組んでいる

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・コロナ禍のため利用者の外出や地域との交流は見合わせているが、地域の清掃活動への職員参加や草取りのボランティア受け入れ継続等、事業所として地域との交流に努めている。
- ・窓越し面会や近況報告の手紙に写真を同封したり、ラインでの動画送付等に取り組み、利用者及び家族相互の精神的な安定を図るとともに、家族とのつながりが途切れないように支援している。
- ・複数の看護の有資格者による健康管理や協力医療機関との24時間の連携・協力が行われており、家族の意向に沿った看取り介護にも取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	出来ている職員がほとんどであるが、いくら注意しても自分の感情で出来ていない方もいる。他の職員が注意深く見守って補助はしている。	理念は玄関に掲示し、職員が各自で確認している。日常のケアの中で互いに注意し合ったり、申し送り時にケアの振り返りを行って、理念に沿ったケアの実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ感染が始まった頃より外部の方々、ボランティアとか入れられず出来ていない。園内の草取りなどには来て頂いている。	自治会に加入し地域情報は回覧板で得ているが、利用者と地域の交流は見合わせている。地域の清掃活動への参加協力は職員が行っており、ボランティアには屋外の草取りのみしてもらっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	コロナ禍でなかなか出来ていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍のために、資料を2ヶ月に1回各関係者に郵送している。	2ヶ月に1回の運営推進会議はコロナ禍のため書面開催としている。事業所の報告等の資料を各委員に郵送し、事業所の取り組み状況等を理解してもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>しているつもりではあるが、なかなか皆さんが本音での話しなのかよく分からない。</p>	<p>市の担当者とは日頃から連携を図っており、コロナの感染者発生時には、市・保健所・協議会などの関係機関と密接に連携を図り支援を得て対応に当たることができた。市のリモート研修には積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>勉強会などして理解していると思うが、各部屋は利用者様が施錠したり外したりされている。玄関は防犯の為夜間のみ施錠している。</p>	<p>指針を作成し、委員会を3ヶ月に1回、研修会は年1回実施しており、今後やむを得ず行う場合の手順等についても取り上げる予定である。不適切な言葉はその都度注意し、玄関の施錠はせず外に出たい利用者にはウッドデッキに出たり近隣を一緒に散歩するなど、行動を制限しないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>防止には努めているが、言葉だったり、たまに見聞きする。その都度注意はしている。優しく、声かけ</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>勉強会はしているが良く理解できない職員もいると思う。今の所施設内では該当者がいない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	入所時に説明している。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	なるべく家族の要望を職員全員で共有して運営している。	本人には日々の会話の中で要望等を聞いて対応に努めている。家族には、電話や面会時に要望等を聞いており、要望に添って窓越し面会やラインでの動画送付に取り組んでいる。	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	なるべく職員の意見、相談事は聞くようにして、またどうしたら良いか話し合ってもらおう。申し送りノート利用などしながら。	管理者は、日常勤務の中で随時職員からの意見を聞いて対応している。終末期や退院後ケア等の提案については、全職員の了解の下にケアの統一を図っている。管理者は年1～2回個別面談を実施し、個別相談は随時受けて対応している。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	なるべく要望は聞くようにしている。お互い助け合っていると思う。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>お互いに長所・短所があるので譲り合いながら上手くやってほしいと話しする。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>現在、コロナ禍でリモートでの研修が多いが、職員不足にてなかなか機会が持てない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所者様の話しは聞き、その場その場に本人を傷つけないように対応している。認知症のため繰り返しが多い。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	意見箱の設置、月1回の請求書を送る時に一言ずつ様子を伝えるようにしている。何かあったら電話・メール等にてお伝えしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の意見に沿ってケアプランを作成し出来る範囲で支援している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事などお手伝いしてもらいながらコミュニケーションを図るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との話し合いでやっている。利用者が伝える事の出来ない方もいるので。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出来る限りやっている。家族の手伝いをもらいながら。	家族との窓越し面会や電話による交流を支援し、事業所からも家族に毎月手紙や写真を送付して近況報告を行ったり、ラインで動画を送るなど、家族との関係が途切れないように取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入所者様同士でお互いに話しされている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	だいたいの方が看取りまでしていて、会った時には話しをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	話しはゆっくり聞くようにしている。本人の言う事に共感しながら説明している。	日常会話の中で本人の意向を把握するように努めており、意思疎通が困難な場合は、家族の情報を参考に表情や仕草から推測して支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サマリーを通し、なるべく職員が共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・お風呂に入った時にチェック ・朝夕の着替えの時 ・オムツの方はパット交換時 職員がお互いに共有しあっている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	連絡ノートを利用して意見を出してもらい、入所者様にとって良い方法を行っている。	本人・家族の希望を聞き、介護記録・申し送りノートから把握した職員の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月に1回、見直しを6ヶ月毎及び状況変化等の必要時に実施し、現状に合った計画で支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	経過記録にて記入。気になる事は話し合いで統一して行うようにしている。申し送りノートの活用		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時その時に対応をするようにしている。家族に手伝ってもらいながら。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍でなかなか出来ていない。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回の往診時に報告したりその時に応じて受診をしている。	契約時にかかりつけ医の希望を確認し、協力医療機関の往診を月2回受けている。歯科は往診または家族の受診同行で対応している。緊急時はFAXで主治医の指示を受けるなど、適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>何かあったら看護師と話し合い介護職員に通達。協力医院に連絡し対応するようにしている。その度 病院への報告などFAX・電話にて行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>協力医院との連絡を密にして情報交換している。2週間に1回の往診時などに話す。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>状態の報告を家族に説明し、これからの事を話し合い主治医に報告若しくは直接話ししてもらっているようにしている。</p>	<p>重度化等の場合の事業所対応について契約時に説明し、同意書をもっている。段階的に入院や施設入所等の選択肢についても説明している。重度化等の場合に医師から家族に説明する際に管理者及び看護師が同席し、家族の意向を再度確認して同意書をもっている。家族の意向に沿って支援に取り組んでおり、看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>一応はしていますが、難しい所があります。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>各部屋に救命胴衣を準備し全職員に協力体制を依頼している。また、避難訓練も行っている。</p>	<p>年2回の避難訓練を昼夜想定で実施し、1回は消防署の指導の下に行っている。コロナ禍のため地域に声掛けはしていないが、地区の消防団との協力体制は築いている。地域からの要望があれば避難場所として受け入れる予定である。非常用の備蓄は、1週間分の水・米・みそ・缶詰等の食料を確保しており、各居室に救命胴衣も備えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	出来る限り皆で共有し対応している。	年2回研修会を実施し、利用者の個々の習慣や気持ちを尊重した対応に努めている。さん付けで呼びかけ、排泄介助時はさり気なく声掛けする、申し送り時は利用者の部屋番号を使用するなど、誇りやプライバシーを損ねないよう配慮している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一応今からやる事、する事本人に伝えて納得してから行っている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	なるべく入所者様中心の介護に努めている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の身に付いた物を。毎日同じ洋服の人もいるが、洗濯は毎日している。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方に合った食事や形態に合わせて工夫している。	管理栄養士の献立で主菜は厨房、主食・汁物等は事業所で調理して個々に応じた食事形態で提供している。お盆やテーブル拭きは利用者と一緒にしている。季節の行事食や誕生日のケーキで食事を楽しめるように工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>管理栄養士の下で相談しながらやっている。水分量も記録して少ない方は個別にやっている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後に口腔ケアやっている。出来ない方には介助している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>なるべくトイレへの誘導をやっている。オムツ以外の方</p>	<p>チェック表でパターンを把握し、時間や仕草を見ながら声掛け・誘導を行い、トイレでの排泄を基本に支援している。入居時から布パンツ使用を維持している利用者や終日のオムツ・夜のみパット交換の利用者もあり、個々の状況に応じた支援をしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎日チェックして入所者一人一人に合ったようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	1日おきのお風呂を行っていますが、本人の気持ちに合わせて入浴等色々な話しをしながら1対1でのコミュニケーション図りながら。	隔日の午前中に実施し、ゆず湯や温泉利用もしている。車いすの利用者には2人介助で広い浴室で個浴を楽しんでもらえるようにしている。嫌がる場合は無理強いせず、声掛けや職員を変えて入ってもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調を見ながら声掛けして休んで頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬説明を見ながら理解するよう。また新しい薬は様子をみながらやっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各入所者様の出来る事をやって頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍でなかなか出来ていない。</p>	<p>コロナ禍のため外出は自粛しているが、できるだけ室内に閉じこもらないようにホールからウッドデッキや庭に出て、日光浴等を行うよう支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金は入所者様は持っていない。預り金はある。病院往診、薬代、不足している物の買い物など。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人からの希望に沿ってやっている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>なるべく心掛けてやっている。以前は入所者様に手伝って食事など作っていたが、今は重度化して出来る方がいない。</p>	<p>ホールは天井が高く畳スペースもありゆたかりした広さがある。空気清浄機や加湿器で適度な室内環境に調節し、天窓を開けて換気も十分行っている。ウッドデッキに出て日光浴をしたり、好きな場所でくつろげるようソファも置いている。ホールや対面キッチンから事業所内が見渡せ、安全面も配慮した造りとなっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	それぞれに好きにされている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	家族とも話し合い出来るだけ努力している。	居室にはベッドとエアコン・押し入れがあり、救命胴衣も備えている。日当たりが良く、掃き出し窓からはウッドデッキに出られる。本人が使い慣れた寝具やタンス・身の回りの小物・家族写真を持ち込み、居心地よく過ごせるようにしている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	トイレ場所などの目印説明の理解の出来ない方は手招き、手引きなどして伝えている。昼間は声掛けしながらトイレ誘導などしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない